

会員発エコ商品情報

次回掲載情報
(商品・サービス)
募集中!

びわ湖一周サイクリング 認定証

輪の国びわ湖推進協議会

「びわ湖一周サイクリング認定」
チェックポイントが設置されている
湖岸沿いの施設にて、携帯電話・
スマートフォンで4カ所以上チェック
すると、びわ湖一周サイクリング
認定証(びわ湖のヨシ紙製)と特
製ステッカーが入手できます!認定
書の裏にはチェックポイントの通
過日時も記録されます!!



- 認定料は1000円/人。団体割引もあります。
- 原則として24時間、どこかのチェックポイントからでもスタートできます。
- 詳細はホームページ(<http://www.biwako1.jp>)をご覧ください。

<お問合せ> 輪の国びわ湖推進協議会
FAX: 050-3730-5843
E-Mail: info@biwako1.jp

天然素材 屋上クーラー 「ヨシ」

NPO法人モスグリーンEco

天然素材の琵琶湖のヨシとコケで作った「ヨシ緑化パネル」。
建物緑化で室内温度を下げ、地球温暖化防止、省エネに貢献。
折板屋根倉庫の緑化実験では、室内が最高19度低下。ビルの
屋上緑化で最高6度低下と環境保全型商品です(22年
特許 県立大学と共同出願)。名神多賀サービスエリアホテル
屋上、京都市保育園、京都8階屋上マンション等の納入実績
があります。

ヨシの加工を障害者、
高齢者に委託し、就労機
会を提供しています。
NPOへの会員としての
参加者、販売提携先を
求めています。



<お問合せ> NPO法人モスグリーンEco
犬上郡多賀町一ノ瀬330番地
TEL:0749-49-0906 FAX:0774-72-7697

編集後記

節電の夏も早一ヶ月が経ちました。気象庁によると今年は
平年よりやや暑いとのことで、暑さに加えて節電をしなければ
ならないという現実と直面する夏となりました。先日、これ
といった用事もなかったのに、久しぶりに家でのおんぼりし
ようと決め込んでいたところ、さすがに昼間の〇〇ハウスは
エアコン無しでは厳しかったため、近くの実家にエスケイプ
に行きました。築70年の町家は、耐震性は怪しいものの風
通しはよく、十分な昼寝の時間を提供してくれました。

近年もてはやされ感のある町屋。特に夏はそのポテンシャル
が発揮されます。表戸から裏へ通じる、やや薄暗い土間を
ひんやりとした風がすり抜け、日差しを遮る簾が揺れる様は、
部屋の風通しだけでなく、視覚的にも涼しさを感じさせる。
夏らしいシーンを演出してくれます。古人曰く「家の作りや
うは、夏をむねとすべし…」ですね。

まだまだ暑い日が続きます。季節の情景や風物に趣を
感じられることは、日本人共通のDNAであるとも言えます。
無理のない節電を心がけ、夏の風情を楽しむ余裕を持って過
ごしたいものです。

(普及啓発部会 松本則之/甲賀市 生活環境課)

雨なしの猛暑続きですが、今年の地球は歴史的な猛暑だ
そうで、北半球陸地の6月の平均気温は、統計のある過去133
年間で最も高く、平年比+1.3℃。この歴史的猛暑は7月以降
も続いている。このためアメリカは深刻な干ばつ、ロシアも
干ばつに見舞われ、グリーンランドでは氷河が解けて巨大な
冰山が生まれているという。

ところで、人間は予てより気象を操作したいという歴史
を背負っており、アメリカ科学振興協会フェローのジェイ
ムズ・ロジャー・フレミング著『気象を操作したいと願った
人間の歴史』の邦訳本が7月刊行された。真摯な科学史家の
著者は、地球温暖化対策としての意図的な気候変化に危機
感を持っており、こうした気候工学ないしは地球工学の暴
走は地球温暖化にも増して危険であると警告を発している。
そして著者は、二酸化炭素排出削減などの中道的解決策を
取るべきだとしている。

中道的解決策としてこれから進めていくべきは、「自然に
学ぶ」「生物に学ぶ」ことであり、自然や生物がもつライフ
スタイルや技術に学ぶことでありましょう。NPO法人アスク
ネイチャー・ジャパン(近江八幡市 <http://asknature.jp/>)
では「自然に学ぶ」様々な取組を行っています。

(常任幹事 力石伸夫/公益財団法人淡海環境保全財団)

編集・発行/滋賀グリーン購入ネットワーク

〒520-0807
滋賀県大津市松本一丁目2番1号 大津合同庁舎6階
TEL:077-510-3585 FAX:077-510-3586
E-mail:sgpn@oregano.ocn.ne.jp URL:<http://www.shigagpn.gr.jp/>



このニュースレターは、GPN-GL14「オフセット印刷サービス」発注イ
ドラインに基づき作成されています。

滋賀 GPN News

Shiga Green Purchasing Network
滋賀グリーン購入ネットワークニュース
第22号 2012年9月

環境への負荷が小さい商品・サービスの優先的購入を進める地域ネットワーク



CONTENTS

■Report1 法人化に向けて……………1	■第7期 役員紹介……………4
■Report2 グリーン購入シンポジウム……………2	■エコに学べ!……………6
～なぜ“今”企業はグリーン購入に取り組むのか～……………2	「継承されない森」から「賢明な利用」へ……………7
GPプラン滋賀……………2	■新規会員からひとこと……………7
企業のグリーン購入取組実態調査の結果……………3	■会員発エコ商品情報……………8
会員情報交換会……………3	■編集後記……………8

Report1 法人化に向けて

5月23日に開催した通常総会には174名もの会員にご出
席いただき、事業計画や新役員等に加えて、「2013年4月に
一般社団法人を設立する」ことを決定しました。

滋賀グリーン購入ネットワーク
2012年度通常総会
◆開催日:2012年5月23日(水)
◆出席者:174名
◆会 場:コラボしが21 大会議室(大津市)



▲土屋正春代表幹事

滋賀グリーン購入ネ
트워크(滋賀GPN)は、
1999年12月に会員数
242、年間予算300万円
で設立以来、会員数、
予算規模とも大きく増
加し、活動規模も拡大
の一途をたどってきま
した。今や会員数は450
を数えるまでに至り、グ
リーン購入ネットワー
ク

の地域組織の中では最大です。私たちの活動が拡大を
続けてきた背景には、会員、関係者の皆様からのご協
力はもちろん、さらには滋賀県を通じて寄せられた県民
全体からの広い信頼があることも念頭に置かねばなりま
せん。これだけの信頼を頂き、それに応える役割を果た
すためには、私達の組織のあり方そのものをより信頼性
の高く責任の所在が明確なものにする必要があります。

一方で、地球温暖化や資源の枯渇、生物多様性等の
地球的規模での環境問題が深刻さを増し、エネルギー
問題、雇用確保の問題、食糧自給率の問題等、社会的
課題も山積しています。グリーン購入が単にエコ文具を
選択する運動を超えて、一人ひとりの購入手動を変える

ことによって、より良い社会を築くための運動であるのだ
という認識に立って考えると、滋賀GPNが果たすべき社
会的な役割は、今後さらに大きなものになると予想されま
す。このことは、商品を買うという行為そのものを「投票
行動」に置き換えて考えるとわかりやすいでしょう。

こうした社会的背景のもと、さらに活動を拡大するた
めに責任ある体制を確立する必要があることから、滋賀
GPNは法人化を目指すことといたしました。

法人化に向けて、より一層の事業の充実に努め、誰も
が身近なところから取り組めるよう、わかりやすいグリー
ン購入情報の提供にも努力していきたいと考えていま
す。今後も変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。



▲2012年度通常総会における新規会員の紹介風景

2011年4月に施行された「滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例」では、「グリーン購入」は事業者が取り組むよう努めるべき事項の一つとして位置づけられています。そこで、グリーン購入の幅広い事例を提供するために、同年に実施した県内企業における「グリーン購入取組実態調査」の結果を報告し、先進事例を紹介するシンポジウムを開催しました。

「チャレンジ!一人ひとりの社員が主役のグリーンファクトリー」

京セラ株式会社 滋賀蒲生工場 工場長 榎 孝義氏

創業者稲盛和夫氏の人生・経営の哲学「京セラフィロソフィ」を根幹に、「社員一人ひとりが主役」という考え方のもと、様々な環境・CSR活動に取り組んでいる。節電・省エネ対策としては、太陽光パネル設置といった大がかりなものから、冬場の風除けパーテーション設置、レイアウト変更と残業スペース設置による不要な照明消灯などの地道な取組まで幅広く行っている。屋根上や窓に遮熱シートを貼り、空調室外機に夏場は日除けと散水、冬場は食堂からの暖かい排気を当てるなど、工夫を凝らした取組も展開している。社員全員で「もったいない気付き」を書きだす習慣が、部署ごと、あるいは工場全体の取組改善のヒントとなっている。社員とその家族がボランティアにより取り組む森づくり活動も行っており、「滋賀県森林CO₂吸収量認定制度」第1号の交付を受けた。「第13回グリーン購入大賞『経済産業大臣賞』」受賞。



調査結果報告

事務局 齋藤より調査結果の概要を報告し、調査全般についてご指導いただいた滋賀県立大学 環境科学部 教授 金谷健氏より調査結果報告書に関するコメントをいただいた。

●金谷氏コメント

グリーン購入に取り組む企業のヒアリング結果が詳細に記載されている点が評価できる。これから取組もうとする、あるいは取組を拡大しようとする企業にとって有効な参考資料となるだろう。特に小規模な企業の取組事例は貴重。今後のグリーン購入推進に役立つことを期待する。

事例報告 田中建材株式会社
代表取締役 田中 稔氏

「心の進化」があって初めて企業活動が発展するという信念の基、90年代後半より「環境で地域一番に」を合言葉に環境活動を開始。解体廃木材のリサイクルに取り組み、木質加熱アスファルト等を開発。2001年「第6回グリーン購入大賞『優秀賞』」の受賞で小さな会社でも努力すれば認められることを実感し、その後の活動にはずみがついた。



事例報告 コクヨマーケティング株式会社
サブライビジネスカンパニー京滋支店
グループマネージャー 高橋 伸年氏

本社オフィスでは働く場所を拘束しないことで、明るさや温度の選択を社員一人ひとりに任せ、省エネと仕事の効率アップを図っている。コクヨ工業 滋賀では、琵琶湖のヨシを使った紙製品「ReEDEN」シリーズの開発・製造を手掛け、ヨシ刈りボランティアにも参加している。また、「エコラボはーと・しが」にもメーカーとして協力する。



※エコラボはーと・しが…滋賀GPN評価手法研究会が開発したコピー用紙流通システム。コピー用紙を通い箱で地域の協働作業所から届けるシステム。購入するだけで、ごみの減量と福祉のCSR活動に参加できる。

GPプラン滋賀(グリーン購入実践プラン滋賀登録制度)

グリーン購入に取り組む事業者の裾野を広げ、さらに環境保全活動を推進していただくことを目的とする、県内中小企業者の方を対象とした滋賀県の登録制度で、滋賀GPNが運営しています。この制度では、登録者のグリーン購入実践を支援する研修会を開催しています。GPプラン登録者か滋賀GPN会員であれば、これらの研修会にご参加いただけます。



▲実践講座(6月1日 彦根会場)の様子

「グリーン購入基礎研修会」(80分)

毎月第二火曜日と、実践講座(下記)の日程に合わせて開催しています。グリーン購入の基礎と、県のグリーン入札制度、GPプラン滋賀の登録方法を学んでいただけます。

「グリーン購入実践講座」(90分)

年間8回開催します。2012年前期の講座は、「環境ラベル」を中心にグリーン購入の判断基準等について解説しました。ワークショップを取り入れた内容は、「実践方法がわかりやすく学べた」「他者の意見が聞けて役に立った」と大好評でした。

※GPプラン滋賀に関する詳細は、ホームページをご覧ください。
<http://www.shigagpn.gr.jp/gpp/>

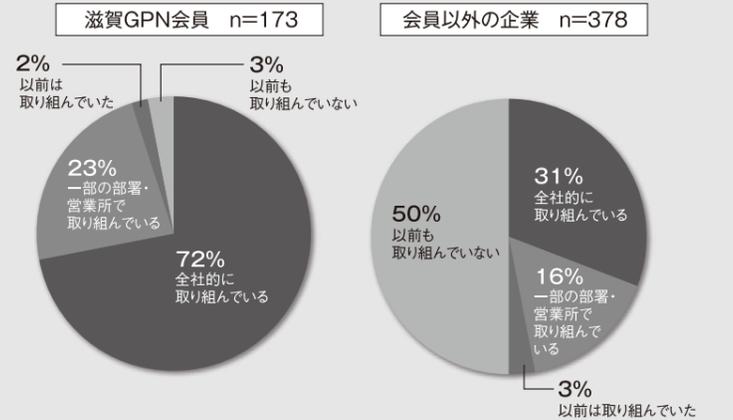
企業のグリーン購入 取組実態調査の結果

2011年7月、滋賀県と滋賀GPNでは県内企業の取組実態を把握しようと、県内3,386社(滋賀GPN会員386社、非会員3,000社)にアンケート調査を実施しました。

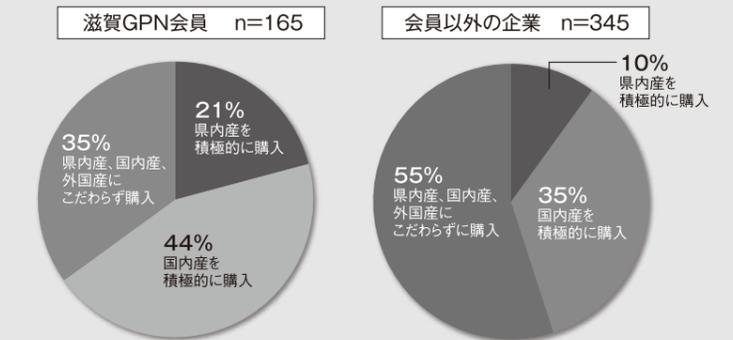
その結果によると、滋賀GPN会員の95%が全社的または一部の部署・営業所でグリーン購入に取り組んでいると回答したのに対し、非会員では47%でした。一般的な企業の約半数がグリーン購入を実践していることとなりますが、その一方で、実践していない企業が半数以上もあることにもなり、さらなる普及活動が必要だと考えられます。

取組内容は、「判断基準の作成(64%)」、「実績把握(59%)」、「目標設定(49%)」、「外部公表(49%)」の順に多く、取組内容ごとに会員と非会員の回答を比較すると、すべての取組内容について会員の方が高い数値を示しました。特に、「地産地消の取組」、「外部公表」、「従業員への社内研修」、「従業員への外部研修」、「個人の生活のなかで実践できる取組についての研修・呼びかけ」、「取引先や顧客に対しての啓発」、「商品購入の際の業者選択」の7項目について、「定期的に行っている」または「行ったことがある」と回答した割合は、会員が非会員より15%以上も高い割合を示す結果となりました。

設問 「グリーン購入に取り組んでいますか？」



設問 「国内産あるいは滋賀県で生産されたものを購入していますか？」



※調査結果の詳細は滋賀GPNホームページをご覧ください。
<http://shigagpn.gr.jp/>

会員情報交換会 ～節電、交通、環境学習・森林～

2012年5月23日、通常総会に引き続き行われた「会員情報交換会」には、会員108名が参加しました。まず、全体会で「節電と省エネ」「エコ交通・エコ通勤」「環境学習」「木材の地産地消」の4テーマの情報提供が行われた後、グループに分かれて意見交換を行いました。今年は参加者多数のため、8つのグループができ、どのグループも活発な意見が出されていました。情報交換会で知り合った方と、その後、「互いの取組を学ぶために行き来するようになった」、「ビジネスでもつながりを持つことができた」という声もよく聞きます。読むだけ、聞くだけではなく、つながることによって得られる情報は大きいと言えるでしょう。今年も、ここからまた新たな活動が生まれてくることを期待されます。



▲情報交換会の様子

滋賀グリーン購入ネットワーク 第7期 役員紹介

5月に開催された2012年度通常総会において、滋賀グリーン購入ネットワークの新役員が決定いたしました。アドバイザーの先生方、役員団体の担当者の皆様から、今後の抱負などをお伺いしました。

※常任幹事、幹事も、企業、団体、行政の50音順で掲載しています。



代表幹事



滋賀県立大学 特任教授・学長補佐
土屋正春

過日開催された私達の総会と、続く意見交換会の盛況は感動的でした。このエネルギーをどう受け止めるのか、活動の組み立て直しを考えると、皆で滋賀のチエを集めよう!!

常任幹事

旭化成住工(株) 本社滋賀工場



環境への取組の切り口として、「グリーン購入」が有効なツールであることを多くの方に知っていただけるよう活動を続けたい。法人化に向け、滋賀GPNの力を結集して頑張りましょう。
管理部 管理一課 担当課長
松宮秀典

関西電力(株) 滋賀支店



商品・サービスの安全かつ安定的なお届けに、日々万全を期すとともに、よりよい環境の創造をめざした先進的な取組を行い、持続可能な社会の構築に積極的に貢献します。
総務広報グループリーダー
川田安男

(株)滋賀銀行



環境省認定の「エコ・ファースト企業」として、地域の皆さまと手を携えて「環境経営」「環境金融」を実践し、持続可能な社会の構築に向けた取組を進めてまいります。
総合企画部 副部長兼CSR室長
西堀 武

たねやグループ



持続可能な社会の構築には、環境問題だけ取り組んでいては駄目なことに気付かされました。エネルギー問題や経済問題は地域や個人で解決出来るものではありませんが、結束すれば大きな力になるはず。
株式会社たねや 総務課 係長
木田幸司

(株)平和堂



平和堂は、地域のお客様や子どもたちとともに、社員一丸となって、社会や環境との共生をはかる会社をめざし、積極的に取り組んでまいります。
CSR推進室 室長
西塚哲夫

(公財)淡海環境保全財団



緩やかなネットワークのよさと責任ある社会的存在を両立し、グリーン購入を事業や生活を問わず、滋賀の隅々にまで広めていきたいと思います。
理事長
力石伸夫

草津市



低炭素社会の転換や資源循環型社会の構築を目指し、環境負荷ができるだけ小さいものを優先して購入する「グリーン購入」の取組を積極的に推進してまいります。
環境課 専門員
小川卓史

滋賀県



滋賀GPNでは、更なる活動拡大に向けて、来年4月の一般社団法人化を目指しています。これからも滋賀GPNとともに活動を進めていきたいと思っています。
会計管理局 管理課 主幹
青井 正

幹事

アインズ(株)



印刷時に発生したCO2をカーボンオフセットする排出権付き水なし印刷「グリーンアイ」を推進中。身近な取組を通じて、低炭素化社会を目指します。
取締役営業統轄
谷 康夫

近江鉄道(株)



グリーン購入という言葉は、環境負荷を低減するあらゆるサービスや仕組に対して使われる頻度が高まり、私たちも自分たちの事業を含め、広い視野でグリーン購入に取り組んでいきたいと思っています。
管理部 総務課 課長
梅原 猛

大阪ガス(株) 滋賀事業所



大阪ガスは「グリーン購入指針」に基づいて、環境への負荷が少ない物品や工事を優先的に調達する「グリーン購入」を、取引先さまや関係のみならず、ともに推進しています。
滋賀コミュニティ室 室長
吉田 聡

京セラ(株) 滋賀蒲生工場



京セラ蒲生工場では、「社会との共生」「世界との共生」「自然との共生」。共に生きることを(LIVING TOGETHER)を全ての企業活動の基本とし、豊かな調和を目指し日々実践しています。
環境安全部 副責任者
澤田昇瑠

(株)沢田商店



良い睡眠を提供してCO2削減、地元の麻や絹などの自然素材を使ってCO2削減。一番の基本は、良いものを長く使うこと。このスタイルをめざしています。
代表取締役
沢田昌宏

(株)JT西日本 大津支店



JTBは、地球環境保全への取組が企業および個人の活動にとって必須であることを認識し、自主的に資源の有効活用、省エネルギー化等に努めます。
営業第1課 営業担当課長
嵯峨良祐

アドバイザー



1999年の設立以来、地道に草の根的な活動を広げ、会員数を拡大してきた滋賀GPN。来年はいよいよ法人化と伺い、ますますの発展を期待しているところです。
同志社大学 経済学部 教授
郡 孝



滋賀GPNの第7期役員としてお仲間に加えていただくことになり心から光榮に思っています。「グリーン」の中に「倫理的、社会的配慮」を含めてサステナブル購入の方向への発展を期待しています。世界の「グリーン購入」をリードしてください。
東京都市大学 環境情報学研究所 教授
中原秀樹



グリーン購入ネットワークの中で初めて法人化を目指すこととなり、おめでとうございます。「グリーン」の中に「倫理的、社会的配慮」を含めてサステナブル購入の方向への発展を期待しています。世界の「グリーン購入」をリードしてください。
東京大学 名誉教授
山本良一

新江州(株)



「もったいないおかげ様」ほどほどに、「M・O・Hもう通信」(新江州(株))編集長をしております。「好き→個性→存在感→夢」が理想です。
循環型社会システム研究所 MOH通信編集長
辻村琴美

日本電気硝子(株)



一般財団法人への移行準備の年。益々滋賀GPNが発展・進化できるように微力ながらお手伝いをさせていただきます。
環境管理部 担当課長
下村真司

びわ湖パナソニックファミリー会



私もびわ湖パナソニックファミリー会は活動20周年を迎えました。これからも地域の発展に貢献できる活動を行うとともに、省エネ・創エネ事業を通じてエコと快適を両立できる生活のご提案をして参ります。
パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 ハウジングシステム事業グループ
飯島美宏

びわ湖放送(株)



地域の皆様に支えられ今年開局40周年を迎えることが出来ました。今後も滋賀の放送局としてテレビ放送を中心に様々な事業を通してグリーン購入など環境配慮型の暮らし方を提案して参ります。
営業本部 第3営業部 グループリーダー
井上みゆき

(有)美鈴環境サービス



弊社の目指すところは、人を取り巻く全ての環境に配慮できる害虫駆除です。「人と人との出会いを大切に」この1点の思いで滋賀GPNのお手伝いをして参りたいと思います。
代表取締役
鈴木健司

NPO 碧いびわ湖



雨水、太陽熱、木材など、私たちの身近にある資源とエネルギー。これら無駄なく大切に生かす暮らしとなりわいを、滋賀GPNのみならず共に一つ一つ形にしていきたいと思っています。
代表理事
村上 悟

滋賀県生活協同組合連合会



2012国際協同組合年を契機として、県内の協同組合・団体間で市民・地域主導による再生可能エネルギーの普及について、また、安全で持続可能な社会にむけて、学習や研究活動をすすめています。
事務局長
藤田 豊

滋賀県地域女性団体連合会



私たちの活動目標で有ります一環境にやさしい暮らしづくりの一つにびわ湖を守る石けん「エコグリーン」と、新しく廃油からの手洗い泡石けんなど、常に環境と健康を考え利用拡大を願っております。
副会長
上阪よう子

滋賀県立大学グリーンコンシューマースークル



大学生や若い世代にグリーン購入を広めるため、子ども講座や広報物づくりなどの活動をしています。これからも会員のみならず、交流を深めていきたいと思います。グリーン同好会として、ぜひよろしくお願いいたします。
GPN担当
山崎晃代

甲賀市



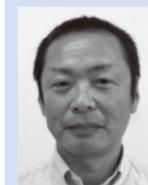
甲賀市では、市の事業を通じ、環境負荷の少ない暮らしをみんなでお考え、実践する取組を進めています。持続可能な社会の実現にむけて滋賀GPNの皆様と共に行動させていただければと思います。
生活環境課 課長補佐
松本則之

東近江市



本市は2008年6月から独自の環境配慮基準「えこ・すまいる」をスタートさせています。その一環として、更にグリーン購入の普及・啓蒙の取組を拡大・実践して参りたいと思います。
生活環境課 副主幹
吉瀧久和

野洲市



グリーン購入を通じて、地球温暖化防止に関する仕組みを構築し、持続可能な循環型社会の実現を目指します。
総務課 課長補佐
武内了恵

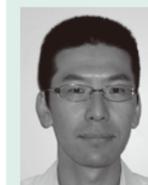
会計幹事

(公財)滋賀県産業支援プラザ



プラザでは、中小企業の皆さんの省エネの取組や環境に配慮した企業活動を支援し、中小企業の発展と持続可能な社会の創造に寄与してまいります。
常務理事
中西道幸

米原市



会計監事の役をいただき、今後もグリーン購入の普及・推進に努めていかなければならない、あらためて感じております。
会計室 主任
中村 努



事務局にもお気軽にお立ち寄りください。前列左より、中事務局長、辻、井田、後列左より、齋藤、柳本

エコに学べ!

「継承されない森」から 「賢明な利用」へ

滋賀地方自治研究センター 理事
山口美知子



「継承されない森」が 最大の問題

「間伐が手遅れになっている」「人工林政策は間違いだった」など、日本の森に共通する批判に近い評価を聞くようになって久しい。しかし、多くの方が「自分には関係ない、遠いところの話」と思っていないだろうか?

現代の日本の森が抱える最大の問題は、「継承されない」ことである。様々な森林に関わる情報が伝えられないことで、森林整備が不十分になったり、価値のある森が忘れられたり、森林資源の活用が困難になったり…現在目に見える様々な不都合を引き起こしている。そしてそれらは、山村で暮らす方々だけに不都合となっているわけではない。日本の新築住宅の半分以上は現在でも木造で建てられているし、秋の紅葉を観光資源として活用する街も多い。そして何より、滋賀県の場合は琵琶湖の水源と

しての役割を忘れるわけにはいかない。このように、「継承されない森」が増加することは、地域経済に多大な影響を及ぼす出来事なのである。

「賢明な利用」が 重要なポイント

滋賀県の森林は、99%人が活用してきた森である。このような森では、人による利用と保全の絶妙なバランスの中で、生態系が維持されてきた。琵琶湖固有の生き物の中にも、滋賀の森林とは切り離せない関係を持つものも少なくない。このような生態系と人間活動の関わりを維持するために提案された考え方が、湿地保全のための国際条約(琵琶湖も登録湿地である)ラムサール条約に見つけられる。その3つの柱は、「保全・再生」「交流・学習」「賢明な利用」であり、日本の森林にも当

てはまる重要な考え方である。特に、「賢明な利用」とは、生態系を維持しつつそこから得られる恵みを持続的に活用すること、であり、滋賀の森林を考える上でも重要なポイントである。

「賢明な利用」のための kikitoの活動

琵琶湖の東側、湖東地域で始まったkikitoの活動 (<http://www.kikito.jp/>) は、この「賢明な利用」につながる商品やサービスの提供を行っている。また、鈴鹿山系に関わる自治体(1市5町)は、「湖東の森林づくりに関する共同宣言」を発表し、



▲びわ湖の森の間伐材が配合された「kikito 木になる紙コピー用紙」

連携・協力して森林づくりに取り組むこととした。これらの動きには、消費地の協力が不可欠である。国は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」の中のコピー用紙に係る判断の基準の見直しを行い、国内森林資源の活用についてルールを定めた。今後、コピー用紙や印刷用紙などオフィスで活用される商品を通じて、様々な形でこの「賢明な利用」にご参加・ご協力いただければ幸いです。

〈連絡先〉
滋賀地方自治研究センター
大津市中央3丁目4-29 レイバ滋賀内
びわ湖プロジェクト担当
TEL:090-7104-1197(山口)



▲QRコード付kikito材の丸太
その木が生まれ育った場所や、その木にかかわった人を知ることができる

新規会員からひとこと

2012年1月1日～2012年7月31日

有限会社アイ・キャリアサポート

(代表取締役 黄瀬紀美子)
子どもたちに美しい琵琶湖を残してあげたい。そんな思いで従来の家庭廃油を原料とした粉せっけんに酵素を混ぜた人畜無害の洗剤の普及活動をしています。

株式会社アケボノ

(代表取締役 安井一文)
たとえ小さなことでも意識を持って取り組み、成果があると信じ、努力していきたいと思っています。

近江もーれつや

(店主 安田 功)
グリーン購入ネットワークの新会員として、まだまだ環境への負荷に対する取組が未熟です。今後より現実的に実践していきます。

大津マル中株式会社

(代表取締役社長 田中康雄)
自然、地域環境に、今できることや環境に寄与した商材を広め、その活動を通して、人との絆や日本文化が豊かになることを、目指します。

桐生株式会社

(LED照明機器事業部 マネージャー ジョイス・ウー)
桐生株式会社はLED照明機器の開発、販売を通じ環境対策にも目を向け地球環境に創意と熱意で貢献してまいります。

株式会社グッド・ジョブ

(野竹ふゆ子)
入会した事で社内での意識が高まりました。少人数の会社ですが、スタッフひとりひとりが出来ることから取り組みたいと思っています。

農業法人 有限会社 甲賀もち工房

(代表取締役 河合定郎)
地域資源である良質のもち米の作付推進と、米の新しい食べ方の提案をしています。「産地地消」で地域が元気になることが基本です。

斉藤防災株式会社

防災関連商品の設計・施工・点検・販売はお任せください。エコマーク認定消火器取扱店。グリーン購入の推進に貢献します。

株式会社斉藤ポンプ工業

消防防災関連の施工販売店です。広い視野と確かな技術力で安心安全を考えます。消火器リサイクルは「安全&エコロジー」な取組です。

醒井工業株式会社

(営業 西堀健一)
環境配慮型土舗装材の製造をはじめ、100%リサイクル商品のライン材の販売もしています。これからは環境に優しい商品をご紹介します。

杉本総合会計

(代表 杉本浩志)
ご縁があって入会させていただきました。弊事務所ではできることから始めています。仕事柄顧問先さまへの提案も大事な活動です。

株式会社千成亨

(総務アドバイザー 古川光江)
今年の夏は電力削減計画に取り組んでいます。節電の一環として、今年から店舗・事務所等で間引き照明を始めました。これからは継続して取り組みます。

園田園 近江たんぼぽ村

(代表 園田耕一)
「届けよう一つ上のご満足!」「活かした土が生命を育む」を理念に食品残さ堆肥と天然ミネラルを利用、環境と安心安全を意識した(米・麦・大豆)栽培!一度ご賞味下さい。

タネダオフィスシステム株式会社

(代表取締役 種田 清)
弊社では文具メーカーからの「エコ」マーク商品をキャンからは再生機コピーの販売を重点に営業をいたしております。

ツジント株式会社

(経理部 辻 清美)
我が社は、エネルギー事業を展開し、エコで快適な暮らしをお客様に提案しています。社内ではグリーン購入を充実させていきます。

デザイン工房 雅(みやび)

(代表 野澤雅之)
地震に強い免震建物の点検やソフト・アプリの制作、パソコン訪問サポートを行っています。環境家計簿ソフトまる君を公開しています。

株式会社デジ・プリント滋賀

(営業部 塚本精一)
印刷の企画・データ制作・印刷製本のそれぞれのパーツで独立して受注することにより高いクオリティと低料金を約束します。人件費と設備投資にかかる費用が軽減されます。

中川測量事務所

(代表 中川隆司)
土地境界、登記、測量等の仕事柄、色々な土地に行きますが、滋賀県の美しさを誇りに思います。この豊かな自然を子ども達に残すために、グリーン購入を心がけたいと考えています。

株式会社西村梅吉商店

(代表取締役 西村正教)
弊社は、大正13年創業より木製家具製造販売を行っています。滋賀GPNへの加入をきっかけに、環境に対する意識を高め、様々な活動に取り組んでいきます。

株式会社プロジェクトしが

(代表取締役 安田浩彦)
系列の会社と琵琶湖の水質堆肥を使用した農作物の育成というプロジェクトを行っています。費用対効果等の課題もありますが、より良い環境のために取り組んでいきます。

株式会社まごころ

(事務本部 馬場 靖)
お客様および介護者の方々にとって、もうひとつの安心できる家族(家庭)としての役割を現実し、社会に貢献することを目的とします。

松島産婦人科医院

(事務長 田中祐浩)
ディスプレイの物を使うことが常識になっている医療機関として、いかに環境に配慮した活動が出来るか、日夜考えながら行動して参ります。

株式会社ロハス余呉

(代表取締役 辻 市夫)
里山を繰り返し再生する持続可能な焼畑農法を通して、農業や肥料を使わない農業の原点に戻り、環境保全を考える取組を行っています。

一般社団法人kikito

(代表理事 大林恵子)
びわ湖の森の森林資源を活用した商品やサービスを提供しています。森林は、皆さんにその資源を活用頂くことで保全されます。

くうのくらすの創造舎

(代表 南村多津恵)
環境活動・学習の支援をしています。電気をカエル計画で事業者の節電の応援、ピークカット大作戦で省電力社会の実現をめざします。

滋賀県国民健康保険団体連合会

(総務課総務会計係 梅本 寛)
地域住民の医療の確保と健康の保持増進に寄与するとともに、環境問題にも積極的に取り組んで参りたいと考えております。

(特活)コミュニティアーキテクト(近江環人)ネットワーク

(事務局 丸山紗千代)
滋賀県立大学地域再生学座「近江環人」の卒業生を中心に、南三陸町の支援や滋賀での町歩き、古民家再生活動等により活力ある地域社会構築への貢献を目指します。

公立大学法人滋賀県立大学

(事務局財務グループ 田中隆宇)
現在の最大課題は「節電」です。冷房と照明で最大限の努力中ですが、全体目標15%の難しさを痛感しているところです。

滋賀県立大学「廃棄物バスターズ」

(代表 徳満勝久)
県大工学部の学生を主体とし、技術で環境と福祉の融合を目指しています。「目に見えるCSR」に興味のある方は一緒に活動しましょう!

(特活)モスグリーンEco

(理事長 大辻誠男)
ヨシとコケで作ったヨシ緑化パネルを県立大学と開発、温暖化抑制、省エネに貢献。折板屋根で19度。ビルで6度低下と環境保全型商品です。